

佐々町立佐々中学校学校だより(HP)

「ときめき」第12号 令和3年7月20日(火) 文責 校長 井上博之

○ 新学習指導要領による新しい学習評価について

PTA広報誌(7月発行)でもお知らせしておりましたが、今年度からは中学校で新学習指導要領が完全実施となり、新しい観点別評価・評定が行われています。これに合わせて通知表もこれまでの評価と異なる点があります。これまでは、各教科で4~5つの観点がありましたが、今回の改訂により、「教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力の3つの柱に基づいて再整理」されました。

ア:何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)

イ:理解していること・できることをどう使うか(未知的状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)

ウ:どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)

この3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、それぞれA:十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する の3段階で評価し、これを基に校内の統一基準で5~1の5段階評定を行っています。

それぞれの観点の評価の仕方についてもこれまでとは違った工夫が必要になり、職員研修等でも確認しながら、「教師の指導改善につながる」「生徒の学習改善につながる」評価を目指し、「これまでの評価方法の必要性・妥当性を見直し」を行っています。

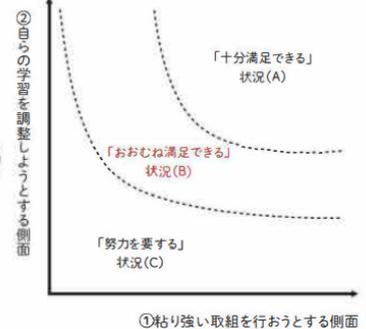
※参考資料

学習評価の在り方ハンドブック(文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター)より抜粋

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行うおうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとして粘り強く取組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



ここの評価は、その学習の調整が「適切に行われるか」を必ずしも判断するのではなく、学習の調整が知識及び技能の習得などに結びついていない場合には、教師が学習の進め方を適切に指導することが求められます。

「自らの学習を調整しようとする側面」とは…

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のことです。評価に当たっては、児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をしたり、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面を、単元や題材などの内容のまとまりの中で設けたりするなど、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で、適切に評価できるようにしていくことが重要です。

○ 生徒総会での協議~その後のあいさつ運動

7月2日(金)の生徒総会で協議した、よりよい「あいさつ」について、佐々中学校の現状と生徒たちや先生方の意見を踏まえ、生徒会を中心にさらに呼びかけや活動を活発に行っています。その結果、4月~6月の状況に比べ、生徒総会後の7月はあいさつの状況は目に見えて良くなっていることが実感できます。笑顔で気持ち良いあいさつ、立ち止まって丁寧なあいさつ、さわやか

なあいさつができる生徒が増えています。とてもうれしい事です。

○ 6組の取組 夏野菜等の栽培と販売

給食室裏手にある小さな畑では、6組の生徒が中心となってキュウリやナス、ミニトマトなどの夏野菜の栽培を行っています。毎日の水やりや雑草ぬき、支柱の管理などを熱心に行い、収穫します。これと併せて1学期に作成したお祝い袋や箸袋、クリップ等の作品を先生方に販売しました。生産、収穫、販売、収益といった流れを体験し、いろいろな方とのコミュニケーションを行いながら社会生活に必要な学習を行っています。



○ 講師を招いてQU活用研修会を行いました

7月16日(金)の放課後に、本校図書室にて職員研修会～QU研修を行いました。講師は長崎大学大学院の内野成美先生にお願いしました。生徒に実施したQUテストの結果から、学級の状況を把握し、一人一人に必要な教育的支援のポイントをデータから読み取り、いろいろな視点から生徒理解ができるよう勉強しました。専門家からの貴重なアドバイスを指導を受け、よりよい学級経営や教育支援に役立てたいと思います。



また、この研修は、佐々小・口石小ともリモートで接続し、中継しました。

○ フリースペース『なずな』のご紹介

今年度、佐々町にも不登校のためのフリースペースが誕生しました。(生徒を通してプリントを配布済み) 毎週、月・木曜日の13時～16時に佐々町総合福祉センター2階大広間で開設されています。

ご利用をご検討の方は、直接または担任、学校へご相談ください。一緒によりよい支援を考えていきたいです。